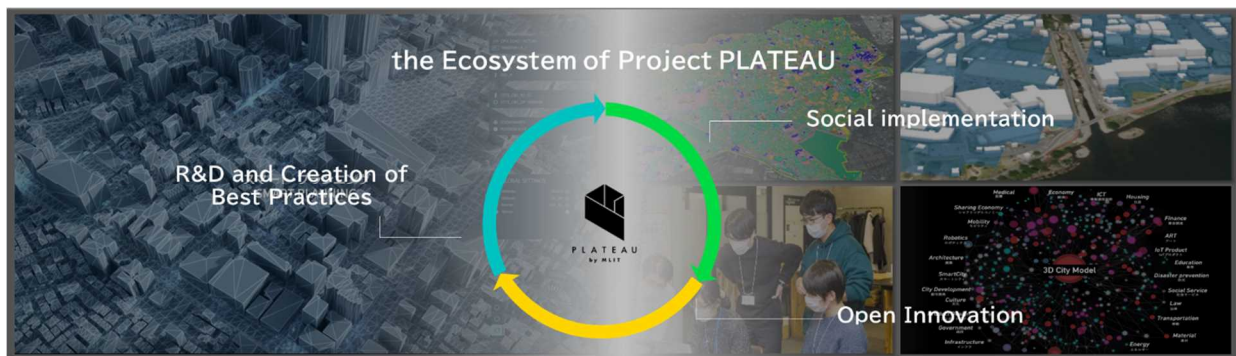


令和5年 4月 19日
都市局都市政策課日本全国の3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進する
Project PLATEAU 2023年度のプロジェクトを発表

2020年度にスタートした都市デジタルツインの社会実装を進める国土交通省の取組み「Project PLATEAU(プラトー)」では、現実の都市空間をサイバー空間で再現する「3D都市モデル」をこれからの社会のデジタル・インフラとして位置づけ、全国でその整備・活用・オープンデータ化を進めてきました。

2022年度までに3D都市モデルの整備範囲は全国約130都市に拡大するとともに、官民の多様な領域でユースケースが開発され、その社会実装が進んでいます。

2023年度は、これらの取組みをさらに発展させ、国、地方自治体、民間企業、研究機関等の多様な主体が相互に連携し、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化が自律的に発展するエコシステムの構築を目指していきます。



Project PLATEAU これまでの取組み

Project PLATEAUでは、これまで全国で3D都市モデルを整備するとともに、これをオープンデータとして公開することで、多様な分野におけるオープン・イノベーションを促進してきました。

2022年度では、標準データモデルの拡張や、多様な分野の先進的なユースケース開発、コミュニティ形成に向けたハッカソンやピッチイベントの開催、開発者向けツール(PLATEAU SDK)の開発や技術者向けチュートリアルの実施、地方公共団体によるデータ整備や活用の支援等に取り組んできました。

2023年度の取組み方針

Project PLATEAUは、2023年度も引き続き、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化のエコシステムの構築に向け、更なる取組みの深化を図っていきます。

具体的には、①エコシステムの構築、②データ整備の高度化・効率化、③ユースケースのベストプラクティス開発、④オープン・イノベーション創出、⑤地域の社会実装の5つのテーマのもとに、**約40件のプロジェクト**を採択しました。**地方公共団体は約50団体が参画**し、データ整備範囲は**約200都市に拡大**する予定です。**詳細は参考資料をご覧ください。**

<問い合わせ先> 都市局都市政策課 内山、菊地
電話(直通) 03-5253-8397
メール hqt-mlit-plateau@ki.mlit.go.jp



<Project "PLATEAU">
ウェブサイト: www.mlit.go.jp/plateau/
Twitter: @ProjectPlateau